

令和8年度地域包括支援センター重点目標

●白井中央地域包括支援センター

「地域の高齢者及びその家族と顔の見える関係性を築き、信頼して相談できる地域包括支援センターを目指す」

- ・地域に根差した相談窓口として、アウトリーチの姿勢を重視し、より身近なより地域に明るい地域包括支援センターを目指す。
- ・介護予防の推進に向け、高齢者自身及び地域が持つ強みを引き出し、主体的な自立支援を実現できるよう、専門職による連携や支援体制の構築、地域づくりに取り組む。
- ・多様化する高齢者を取り巻く課題に対し、関係機関と協働し課題解決のためのネットワーク作り、他職種連携に取り組む。

●白井駅前地域包括支援センター

【地域のニーズ把握と地域分析の推進】

総合相談業務やケアマネジメント業務、高齢者実態調査を通し、担当圏域の現状やニーズを把握するとともに、地域包括支援センターの周知、介護予防の啓発を進める。

●西白井駅前地域包括支援センター

【地域の活動団体との連携を推進】

令和7年度から清水口小学校区まちづくり協議会設立準備会に参加し、地域の特徴や課題の把握を重点目標としてきた。

引き続き令和8年度も継続。令和8年秋には設立総会開催予定であり、設立後も清水口小学校区まちづくり協議会の活動に関わり、連携し続けることにより、地域活動活性化の支援や地域課題の把握に努める。